住んでいたいと思える　このまちが好きです。

いいとこいっぱい。あたたかさもある。

地域の方々の活動・取り組み

区内には、在住外国人の日々の暮らしを支え、日本文化の魅力を伝えるために活動している地域の方々がいます。
言葉や文化の壁を越えて、誰もが安心して暮らせるまちをつくりたい。そんな皆さんの思いや活動をご紹介します。



◀国際交流サロン「茶道体験」

中央区文化・国際交流振興協会（CCIEA）のボランティアのみなさん



香川さん
「イベント」ボランティア

お茶を始めたのは10代の頃。約25年前に主人のマレーシア赴任に1年半ほど同行して、日本人会を通じて現地の方々・子どもにお茶を教える体験をしました。帰国後、小学校やプレディ・産業会館・いきいき館などで茶道の講師をしています。
CCIEAでの活動は2006年から。毎年行われる「国際交流のつどい」では、1席30分、参加者の約半数は外国人、畳敷きの和室で呈茶（お茶とお菓子）の会を催しています。最近は、参加者自身の手で抹茶をたてる「体験コーナー」も始めました。私のふるさと、中央区は伝統文化や古い町並みと新しい街区が融合するすてきなまちです。皆さんにその魅力を少しでも伝えられたら、と活動を続けています。



竹広さん
「CNC月島」日本語教室代表

以前、東京五輪（2020大会）関係の仕事に従事していた頃、在日外国人の日本語学習へのニーズが高いことを知りました。中央区在住の外国人の数も増えつつあったので、定年後に「ボランティアとしてやれたらいいな」とCCIEAの養成講座を受講。その後2023年に「CNC月島」を立ち上げました。
在住外国人の中で言葉に苦労しているのは、日中仕事や学校に通っていない主婦の方々。日常会話で不自由している様子でした。そこで平日の午前に授業を開講。8割が主婦で、皆休まず出席されます。卒業後にチューターを手伝ってくれる方もいます。彼らが異口同音に語るのがまちの住みやすさ。もっと深くまちを知り、好きになってもらえるよう引き続き頑張ります。



齋藤さん
「国際交流サロン」ボランティア

ドイツ出身の妻が参加した和菓子づくりのサロンでCCIEAを知り、昨年末にボランティアに登録。現在は、イベントの企画・運営を担当しています。中央区は老舗企業や伝統文化などの資源が豊富で、日本文化を学ぶワークショップは特に人気です。防災体験など、暮らしに関わるイベントも、海外の方が安心して日本で暮らすために重要だと感じています。デジタル時代だからこそ、直接「交流し、体験する」ことに意義があります。リアルな出会いが違いを超え、互いを理解する「本当の意味での国際交流」を生んでいると実感しています。参加者の笑顔や楽しむ姿から私自身も元気をもらい、このまちのコミュニティの一員として活動できる喜びを感じています。

「中央区文化・国際交流振興協会」CCIEA

Chuo Cultural and International Exchange Association

区内の文化活動や国際交流活動を推進・支援する団体です。
ボランティアの皆さまと「日本語教室」や日本人と外国人が交流する「国際交流サロン」「国際交流のつどい」等を行っています（16面参照）。

問中央区文化・国際交流振興協会
〒104-0041
新富1-13-24新富分庁舎3階
☎(3297)0251
FAX(3297)0253

詳しくは文化・国際交流振興協会HPへ

外国人住民のための生活マナーリーフレットを発行しました

外国籍の方の転入手続き時に配布しています。
区役所8階文化・生涯学習課、各特別出張所でも配架しています。
問文化・生涯学習課多文化共生担当
☎(6264)7083

詳しくは区HPへ

